



三愛だより

第58号 2018年12月

社会福祉法人愛知三愛福祉会
日進市米野木町南山987-104
発行者：理事長 池田 曠

グループホームあいわ

文化祭

☆11月3日 文化祭参加

15周年おめでとうございます。そして感謝の気持ちを込めて皆で合唱。旅愁♪を歌いました。



思い出作り

☆秋の外出企画（紅葉狩り）

思い思いの場所で一人ひとり違った秋を感じ、楽しい一日を過ごしました



☆あいわにて頑張りたい☆

この8月から入職させていただき、はや4ヶ月が経ちました。他職員の皆様と共に業務に当たってきた中で特に感じられたのは、割に余裕の気持ちが抱けることでした。そのような環境下にて働かせて頂けると職員と住人さんとの関わり、及び住人さんへの支援を楽しく感じられる事が多くありました。今後もそのような職場であることに感謝し、大事にして取り組んでいきたい次第です。よろしくお祈りします。



(介護福祉士兼計画作成担当 伊東淳)

☆愛知三愛福祉会とともに☆

私は愛知三愛福祉会に就職して今年で12年になります。色々な出会いや別れを繰り返しながらあっという間の12年だったように思います。

「愛知三愛福祉会が出来て15年、おめでとうございます。まだまだこれから！」 人生の大先輩の住人さんに寄り添い、色々なことを経験しながら、これからも愛知三愛福祉会で、自分自身を磨いていきたいと思ひます。

(介護福祉士 村川 多賀子)

【編集後記】

開設15周年をお祝いした11月3日は、新米の施設長が、歴史の重みと施設を支えてくださる心強い人脈、そしてとびきりの住人さんの笑顔に出会えた貴重な一日でした。その雰囲気をお伝えします。 T.Y

社会福祉法人愛知三愛福祉会開設15周年を迎えて

◎11月3日 記念式典での礼拝説教要旨と理事長のごあいさつ

更に、イエスは言われた「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作るほど大きな枝を張る。」マルコによる福音書4：30～32

私には三愛で捧げる定例礼拝での短い時間が、とてとても大切な時間です。それは神様が私たち一人ひとりをとてとても大切にしてくださることを、礼拝の中で皆で分かち合うことが出来るからです。今日の聖書箇所からし種が出てきます。からし種は本当に小さな小さな種です。でも地に蒔かれて土の中から成長してくると、鳥が巣を作るほど大きくなります。つまり、私たちがどんなに小さな存在であっても、私たちの中にある色々な思いが小さな事であったとしても、それが神様の愛によって成長し、目に見えるような形になっていく。神様は私たち一人ひとりを大切にしてくださるお方、愛してくださるお方。そういう思いを礼拝の中で一緒に分かち合える、今日の御言葉のように成長して、鳥が来て巣を作るほど立派になる。大切にされること、愛されていること、それに感謝しましょう。これまで15年の間、神様が愛知三愛福祉会を守って導いて愛して下さいました。これからももっともっと大きく枝を張っていくことができる、そのような希望が今日ここに私たちに与えられていると思ひます。(南山教会 村山 盛芳牧師)



「そこで、王は答える『はっきりしておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』」マタイによる福音書25：40

居場所を求めている人、働き場を求めている人、病がある人、苦しんでいる人、その人たちに寄り添う施設になることを願っています。それと共に最も小さな人は私たち一人ひとりであることを忘れてはならないと思ひます。そして新しい施設長を迎えることが出来たことに感謝します。三愛の働きを祝福して下さる神様の導きによって、これからの5年・10年・30年続けてこの三愛の働きが立派になっていくことを心から願ひます。(池田 曠 理事長)

施設創立のときから今日まで、施設と共に15年間を歩んで来られたボランティアの市川さん。長い年月、住人さんを側で見守りながら共に笑ったり唄ったり、時には泣いたり。心から住人さんを大切に思ひながらボランティア活動を行っている市川彰子さんより、お祝いのメッセージを頂きました。



創立15周年おめでとうございます。

ボランティアを始めて、特養のぞみ3階の喫茶サロンで「ポレポレ」の鈴木君（スーさん）、理奈さん、久美ちゃんと木曜日担当のお好み焼きとお茶を出す手伝いをさせてもらいながら、住人さんとお話しするようになりました。『広報につしん』で紹介されて、お客様がいっぱい皆がパニックになってしまった事もありました。当時のボランティアコーディネーター渡邊さん、ケアマネの牛田さんと八事にある名城大学まで勉強に行き、住人さんの若い頃のお仕事や家族の話聞いて「ライフレビューブック」を作成した事も！

年を重ねる毎にお話の出来る方が少なくなっていくのも感じます。そして、いつも明るくお世話をされているスタッフの皆様には、仕事の大変さを目にするたびに頭の下がる思いをしております。御苦勞様です。ほんのわずかな時間ですが、編物をしたり歌を唄ったり、思い出話を聞かせてもらって「じゃあね！また木曜日にね！」と。この先も傾聴ボランティアを続けさせてもらえたらと思ひています。これからも宜しくお祈り致します。

三愛の文化祭

唄うのが大好きな特養の住人さん、いつも明るくて様々な企画に喜んで付き合ってくださいるデイサービスの利用者さん。皆で力を合わせて合唱団で出演されるあいわの住人さん、お疲れ様でした！そしてありがとうございました。2018年の文化祭も皆様のご協力により楽しく過ごすことができました。皆様の姿に励まされたスタッフ達、参加して下さったご家族さんの笑顔、すべてに感謝します。皆様お一人おひとりの日々の生活が守られますように、神様の祝福が豊かにありますように、心からお祈りさせていただきます。



デイサービスの利用者さんと職員より頂いた15周年お祝いのお言葉

Mさん：「ここに来て良かったよ！待ち遠しい。職員さんがよく気付いてくれる。良く働いてくれる」
家族さん：「1日も休みたいと言わず行ってくれる」
Sさん：「非常にすばらしい。人がいい！」
Mさん：「わけへだてなく愛してくれる。愛情は大切！」
職員：「15周年おめでとうございます。三愛の施設で働かせて頂き感謝しています。」

アドヴェント・クリスマスコンサート

毎月ボランティアで来られる「楽しい歌の会」を中心とした、「ラウディス会」の皆様が当施設を訪れました。私たちの救い主である主イエス・キリストを待ち望むアドヴェント直前の12月1日に、クリスマスコンサートが開かれました。素敵な笑顔で、感謝と喜びのお声で賛美をして下さいました。賛美歌の説明を通してクリスマスの意味を改めて教えて頂き、施設の住人さんと利用者さんと一緒に考える事も出来ました。私たち皆に来て下さったイエス・キリストを心からお迎えする、よいクリスマスになりますように。



お知らせ

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

クリスマス感謝礼拝・音楽祭

とき： 2018年 12月 24日(月)
時間： 14:00～15:00
場所： 特別養護老人ホームのぞみ 1階ホール
参加： どなたでもご参加できます！



三愛後援会へのご協力をお願いします！！



(1) 三愛後援会とは何ですか？

2004年10月に、社会福祉法人「愛知三愛福祉会」の施設がオープンした直後、法人の運営する老人介護福祉事業を深い理解と共感をもって支え、必要な協力と経済的支援を目的とし、キリスト教会関係の有志が発起人となって「三愛後援会」が立ち上げられました。



2018年度後援会総会

(2) どのような組織ですか？

発起人の呼びかけに多くの方々が、三愛の理念に共感し、年会費と寄付金の納入という形で会員登録して下さり、後援会が組織されました。今では施設入居者のご家族や、デイ・サービス、ショート・ステイ利用者さんのご家族、キリスト教会関係者、法人役員関係者、地域の方々等約140名で構成されています。独立した組織として、会長他8人の役員が後援会運営の責任を担っています。

(3) 年会費は、いくらですか？

個人会員は年会費3,000円、団体・法人会員は年会費10,000円です。その他、寄付金も合わせてご協力頂いております。会員の方々には、施設の様子をお知らせする季刊誌『三愛だより』をお送りします。三愛後援会の会計年度は10月1日から9月30日で、毎年、継続会員には、10月1日に新年度の年会費納入をお願いしています。入会・退会は随時ご自由です。

(4) 年会費や寄付金は、どのように使われていますか？

『三愛だより』発送等に関わる若干の必要経費以外は、全て法人への寄付金・寄贈品として用いられます。施設の現場の声を聞き、最も必要としている物品を充分検討し、優先順位を考慮しながら、寄付・寄贈しております。多くの方々のご協力により、過去14年間に寄贈された主なものは、デイ利用者さん送迎用の特殊自動車2台を始め、特養住人さんの個別介護対応に必要な介護リフト、特殊な車イス等各種の介護用品や、住人さんの生活に少しでも多くの楽しみや潤いを増すための大型テレビ、カラオケ・セット、DVD、デジカメなど。全て住人さん、利用者さんの日々の暮らしに直接関わる物品を、毎年、年間100万円程度寄贈して参りました。その他、施設職員の方々の献身的な働きに感謝の気持ちを表すため、後援会から職員親睦会の費用援助もさせて頂いております。

◎今期、第15期(2018年10月1日～2019年9月30日)も100万円を目標に活動を始めております。老人介護福祉事業の現場を取り巻く厳しい事情をご理解下さり、共に力を合わせて三愛の尊い働きを側面から支え、温かい愛に満ちた素晴らしい老人福祉施設として育てて行くため、多くの方々のご協力をお願いいたします。趣旨にご賛同頂けましたら、下記に年会費・寄付金をお振り込み下さいますようお願い申し上げます。経費節約のため、郵便局での振替控えを領収書とさせて頂きます。尚、後援会を窓口とした寄付は、確定申告の寄付金控除証明書が発行出来ませんので、必要な場合は直接「社会福祉法人愛知三愛福祉会」へご寄付申し込みをお願いいたします。

郵便局 振替口座 番号：00820-5-185368

名義：三愛後援会

法人事務所にて、現金受付、振込用紙の準備もさせて頂いております。

三愛後援会 会長 戸田 安士
事務局担当 渡邊めぐみ